新板
會本

那賀御茶屋記

二之巻

1.642
2

第一　目録

横濱
谷富

本喜

於信濃山手管弦滝

第一　本妻と妾と生いたちひい泳い池

月孫

二之巻

饗庭文庫

八文字屋

男と接ることあいてくるまの妻は妻
粹な姐がいきとうてあくこを海へ捨てる
子宮内で溜ねまづむ丸宗は芸家

第二　方便で人を[illegible]にとり革屋[illegible]が計略
喧嘩のおい後より下屋敷の[illegible]人革
分[illegible]れ志い手あにうの人の金の命
人の細しの[illegible]四つく廓遊びの一時の

第三　同じ[illegible]大[illegible]とすめと記[illegible]の[illegible]砂
[illegible]に入て折のい流れの男に首を
[illegible]おすまふ酒のうとをぐ言[illegible]の大[illegible]
人のいいに[illegible]ぬ[illegible]紙のきついてきすの大[illegible]の

一　女妻と妾と手にとらひい深い泥池
日いあ[illegible]にらりくと入くぷをすず芋[illegible]の入れの[illegible]
ふさに約てけさ中あよ鉄面さてきとしいてとりたかる[illegible]
四[illegible]れいぬぞろけてそいありを[illegible]
四へさんくてくぷとも[illegible]てゆくにぷ[illegible]や[illegible]ゆれしとて[illegible]
まり四もちぐふ人ちもせざりけとい門[illegible]の戸をたくさそ方
[illegible]の中[illegible]ゆて[illegible]れといい[illegible]人
[illegible]の戸とかそちにゆて中あ[illegible]
ぐ[illegible]おさまりてるぐ中ゆうあ[illegible]
[illegible]人よ見んべき妻にもわ[illegible]
いいさそふてゆるゆんもられ[illegible]

屋敷とおぼしてゆゑ所にぞ海氏のうりうに女の姿すがた月あの形よりも
わいはうろうれど衣裳つきゆゑ賤女といふてぞうぎさふさ
さてらく下りてうかぐいろをしろいて後へ入る形ぞ男と揺るゆとと
相しそびろくまろついそ行いい海辺よのそこらと会ひてあそぶ仏
とびこむ所とびろうだたさろ和も女でもひある男一世しのよるべく
のけてもくたそまぐ乱で花実の時さ入るい倉ぐ物ぐれと悩ぐう
わ男とうぐくてかぐぱ男ふつまされぐまうぐ男とうげさあふの
ちうれた間ふのつぐうさうれのの産祥のうんとうそ生まうんせ子細と
ゆまてそ上でごうまのちうんせまうんぐぱそのまく
ううアまをふうんぐらのまうう提ぐのわて赤ぐ男ぐやけうて嘗ま
ふぱうくといんせぱ男のとのうぐ八ぐひ法でいて宮ぐ出わすの粒みたた
らん女の男でもうう八間とういるうれ接ふてまうゆて人さんせ仏

こ男ゆまうぬよかんふなんぐ人分ぐふぐうとうんかいお方ぐやぐーや
貞女のうふそひいてゆんぱそのそいい人は新とあぐらうてがぐぐーさふ。
ちうのひいうねぬ情ぐーうとくあうてちうれてうきれと海とうぐーそのう
まひうれいぐさーまアあういう年分なぐーけさゆふれうそいあうぐうわ
というれいてぱさいびううちうさうあひぐのうまーー中男いい仏ーうそまうーうせ
紙ーうあれいぐうそあういてやーうるーちうぐーあうぐーぐ和いい海れのゆう仮
とくいうらうぐーぐみ系の町のけいうせい若ぱふぐーやものーうよあまうこの男の
上ーうてうーうんうぐ紙ぐうーいい女のつうなうふ海でやおんのうくいお屋れ
の貝れぐたううの屋ぐと市ちあ屋ちよーうーみをさびーいやとさせとうと。
ぱうやゆくうちうれんぐーおうーうーうてやせぐーうまけふ紙ぐれども。ゆ和
わうぐとぐうんぐ今ぐ能いおうまゆゆうをうれてちとうまうとゆゆや
上る程ぐうと兼仏一日仏ーかうれかうまうにわうぐとけのゆのうくさ。

わりあいよ
やまとをの
つまぞ
ねりたく

はてとかきけいせいめがだまりて今長しとおもいてうぶやくと行ちゆう
ゑうてでさうはさんいろぞいは見えいてはしまりがやまてこそ
わりぶ今日はぐらあるてはそうひまへ巻をれの中ゆういて涙と妻と
行くわくれといひて対果さひべは一ゑ三ねとみて上屋敷へ退分は
入ある拝みとぶ部屋の里ろうはらうえ来その泊を涙ながしは。
巻をとはえとこさ仏四ぶ屋敷へ後行くんと刀とさげて出てあ人は
神のとうて巻をれと出会なき出よ。私とけこはれ会さて
おうびぶんうこ巻れのぶをさぐやはてこおきけるいめがだは
てどあて出さねと行きはうさうてごそこんそのやながいてこうきと逢
て行ひぶゆうとうけそうわくぶとそうてはけどあまうぬ
巻ぶんろはゆうときいてずぐは出今は中屋敷へ美ろ氏神れの中り
会しやさうぶいずしおめふうぶ命とすひこわさ行ようさなど。

相山家ゑ巻をれは巻をれは中ゆうはよりては面或あそりは今家の妻乃
あうりは今と持ちれんとさらつめれひぶ（は分を抱れんとの中え
恨とけどうあくれ相家は行はたは人屋の祝い相かぶろもあは中元
といはるぶはは巻をれは巻をれい男四さは射面
のこであるいはお果ておこ二人さはお果をきれもけろぶはそれは
はは人も弟と投ちくすせられてはは行みあるおとりそうて
やぶさは巻をれもはさま人行はいれは中ると海なしの孤ぶおうて
は人入ぶさりてはあるおうあるまでおるのくあるやくはうそ。
人巻をれへ行ぶわはされわとぶはは巻ぶはうはたのぐれ。
あるうれと巻首あさうくあんはるさうは分のうりうそうおるの
まはとは中はとれなされまはたらこ。頃ぶぐはたのさくとけばうはいとしい
かるいはのうはとはをれはんうは侍よはくはぶはもはそはは女のみちか

くるわのゆへぐらいやうゆう。一門一家皆ことごとく白拍子といふるゑ
かるく中ゝとわけておぴゆめに沉こんとそゝぐとさいめまぶし。
何こそあれ今をかぎりの我姿拍子こんいるこゞりやぴ
いつ。おもひ入きこゝろのゐ白ぽくふ沿て流れ中夜今をかぎりのゞ
ゐこゝろてはいにぐりて下されぴ恋すきこのくるわ恋と云りぽゞ
らかはにゐられをみのまゝわしにもあるぴ。母とりぴ法一門家おぼゑの
ゐるとゐりてぽくしまにわゐれた。皆をれの中主世にてゐやうさ世の
ゐぐ立めゐぴゐの丸のまゝハこゝろくべくあひとぽんとゐるゐと。
ゐりついてこゞめまゐ世中ゐかりる中ゐ世のゐのゐめゐにゐに
ゐとゐりゐぐ見ハ世にゐりをきに中ゐ入ゐにあゐはゐきつゐの
ゐゐと紙とゐぐゐとゐ中ゐが入ゐおまんのゐりゐゐゐくゐむきのゐゐの
ゐいゐゐぐてハぴゐれの身かどゐ家紙ゐりのハゐ。者ゐ人ゐ肌とゐれ

てもいとゐとゐハゐゐにゐぐぴゐゐ皆をれこのひ時。
ゐゐてハ今ゐもゐゐとたゐゐれゐぐゐふゐゐゐこれのゐゐいかのぐゐ。
それゐぐハゐまてゐぐんまで皆をれのゐぐいもゐゐぐんぐ法れかいとゐ
て皆をれのゐぐゐめの中さゐぐゐゐゐぐんぐゐゐゐとゐ法ゐれこゐ中ゐぐゐゐ
ーさゐんゐを耐ハゐ入れてゐれてゐんぐゐ中ゐぐゐまにゐりて。
ゐりゐゐまゐくもゐれゐゐの長ゐくを耳ハゐどゐりハれゐるゐ法ゐ
でゐりハ法れのゐかゐゐゐ目ハ月ゐかゐ日れゐくゐゐてゐる石ハにゐゐひ。
ゐるゐゐゐハけてゐ皆をれゐあげゐをれをゐゐ皆ゐかぬゐあげゐにゐゐ。
皆をれけハれゐ裏の中月ふゐゐ中ゐあゐゐさゐのゐゐゐさゐれゐく法
ゐんのゐゐゐあげゐハ紙のゐゐハれてゐんれハ法れのハゐゐ入ゐ中ゐかゐハ
ゐハいと月ゐつゐかゐゐゐれハハ法れのハゐゐ入ゐ中ゐかゐハ
ひハのゐげゐゐ皆をれゐさゐ皆ゐあゐとゐれゐさ法ゐかゐゐと。

かこのうどんおりろいまがどいゆろく抽そぺぷ大まく今ろかが。巻きさぐ
ゆくくうなぼろていかるいよぜいゆさうと浸さんの足さていさくぐん
ちろれぐぺ今日いかぎうこ月なのわぜそくゆろねぐぺいい切ていろいぐん
る先いもいまろいいえいど抽は本ろ射勝まか切てちて前ち方い
とくぐくの作ぺうあ三巻ちめ一ぬこ色糸ひっも。勝牝して助べよ蛙
のぺう三戸さけばどるぐ。ぜてゆくてわ一れ二ちそと。巻きさんの拡力して
鬼のゆるおりいりてごさんちくれど。周もゆ二抽ろて数ちるいぐ三ぜ
うくひっと面方の根色のていろ。男たまで先が。巻きをれよれつさて。
さあぐくるぐあくるまれがけくは三ちて。脱このすぐいことぐ先めろ法れて
ゆこことれのおけわく。心裏のいるいに彩ふりわて抽さ人作れ表
強のろいいぜ何ろのゆかこんろけてもるまぐるひするぬ子のか
らいいいて異しさぐんど。面女のろ三ちよたなちこのぺやれ彩ろやの抽ざや

のと彩とかぐやろ表ちゆくぺろ二ゆ。抽れし粹ちろ抽ちうぐぺとぐつて表石
とかめろゆるる風信るれぐ。男の粹ちよれろぐぐこ分の金巻ぐ巻を
れ人面周ろて女のろが三れいぐりに表ちつとれるこ抽ど
抽ろ男ところる人抽てげ巻いちさん抽れかるされますれぐ抽男も抽
られてむれうるくを巻ろ三に表まちまいがさすれぐいぐにざろて
もげ命ぐふれれぐろれれつけて表ちよゆすぐ。ぐさ人羅ろういる人の
池ちこぐ巻の縛金に表てぐ。ぐと粹ぐれ抽ろてぐ。ぐれの男二
ちぐまれさ方の羅ろかろうぐざろまちてぐぺいの男い巻貴弄の化分。
けいるいがるひものるくぐりんの仏が抽女ちれ分と抽ぐでこざろ法せつて。
和巻武紙い千人の男に肌と三れくまて功徳によって仏ちおゆ抽か
されいとゆ中ちて人い仕ろまれるくと弄に巻ゆ巻ちたとろんろぐぐう
ろぐきていひけとれぐぺくきぐやものげ巻ちさ人ろれぐ巻きこれへの

いのちけいこつぞんをうしなふべしてげいこ屋（やうて下され）ぞのの
人のさろかさに恋ぶとうあまるれば（そんすゝえかゝ九条の町と人（ひと）ひ
つゞさうてつきかゝーの恋ひにきそくれとかつまるれば（ついすゝ虫をぷれい
ろもかゝれ鉢へまう。恋をのよわつて若のうゞ紙りうてぞうぞ虫と
やうりげしうる者と生まれのできぬ中（ちう）いぷいるゞうてえんまさつと
あれば（おまへ）るめゝ人よりたゞ中神とぷ恋池の娘の桜のオふ
ゆけうれぷくきあと言にぬいぞとうれなば（ぷ）分とうげれうとお
もうてうう返よしかうまいぷうまいぷ言まてうおまへいさ内に恋ひ
のけいをいよ水すまさうとうつのと。公兵さをまと（ぷ）中神ぬゞを
けうまにうけてぷさいハ水系の色町へうゞれの分とうゞうえ入と。
うをうゝの国絵かうゞ

二

方恋て人をけゞ（けと）る茅蔵えゞ汁写

まうゝ形人に汚うる生物の村はかうふい神のゆ中（ちう）いぷけさ（ぷ）おのゆゞうる
衣言ろ（よ）絵れ（ば）。ねいはゆ（ぷ）へ内分と恋れうふ絵のとぷ（ぷ）まうに
茅系ぬ井ゞうきさいざいそぎ鉢へ三角りかゝうゝ生（せ）いぷ母の衣川ハ
空とひゝゝぷうとゞうに絵入まうぷ。恋ゝ一京の都州は入ど浅
と汚てゝ力にそゞぐに安やも名のゞうゝぷさ切ゆてうれんとひよ。
をのれとあよ入て恋ゝとあれいゞひゝに恋ぷうの射いゞ絵うれ
かうゞぞゝもはゝていとうれ。ぷ異ろ恋ゝるゝ恋ゝうのゞゝ汚と
かけれぷうれゞ恋脚病共ぷ出よくゝ一間くゝのうゝ恋戸絵ゞうまゝ
とゝ汚ぷ浅くゝゞうゝきぷれど言れゞ言ゝ生ゞれいぷ母の老とよゞいけ。
え恋ゞうれやゝい時年ゞやうつゝひゝ中ゞうゝれいぷ。ゞぎふうゝひえ
ゆゝと恋ゞいぷゝもゞに浅とうゝれゞ。ぷ恋池ゝうんといゝゞゝて。ぷゝと会
新紀のまゝ形ゝう浅とのゞひゝうれ西とゆゝいゝれゞぷゝゆゝうゝ桜の

うんさいやく人ようはいけ者そぶさ山あ和のえゐれば山そに流と
さびあ山ぐとそをいさいぐてて用ふ自滅すう法ぐ方人とて。
技技切者ばくゐれてすういたきかう方ふ紀。居ふと法くをば。
現ふ法ょ一かぐのうびとそさんぐくれかるふと法人せといひ
ケし九。法あうて上ふ者にに市入といつのもくぐけへのか法ゐの
技をまいけさゐれば芸技あへまうくゐ及ぐぐけさうちあうと
おさせうれ法くくゐ市和とにけおも技ずすと法て技ぐ方きうく。
ざうわとれの結義ぐ上ふ者ふ上ふ法ゆう。者そぐおに者う。私い
法ぐ方ふ厳つくこの結義と上者そお髪ぐうちゆちゆ射ぐのよ
つく人ゆ人ゆうしゆ上ふ者ふ人ゆ法ょうつもれ者ふあねとし
ぐ。ゆ原里うあ技者をれのゆゆそ鼻れと技くれば一分
立ぬとあつて。付ふさんとの法ふ法ゆ法ぐ技ば用ゆるさるぐと芸ふさ

まうとゆふ頼例ぐれ義まえつされ拙者ちに法せそのゆつけ。
隠数ゆきうゆ人のゆ屋とねぐぶあうゆ法とびそにふまそのけう
ぐゆ人月月の逆とちゆ法僕ゆそ侍家のゆにて立磯ふつされ。
付ょせんとせれれと潮うけねけそへゆうまるのく人ゆ法ゆとけそくひ
くぐされば法ぐうわれょゆうそへゆとされるゆりめくねぐれぐゆに下
人ゆれれいそて命ゆそゆ。べきょいあぐれくぐ。武士の付果さんを
あると法ゆそ逆ふとのゆ屋脇病ゆ技のうゆ人ゆうぎうそそさ
ゆうのゆ法ゆ人のうゆにうあぐゆそふ門ぐう者と者ゆうう
ば武まゆくそねとゆ者ゆと技くれ法と者て技んとうゆ者ゆる
ゆに法に法ゆくくれ法ふゆとゆ法ゆ者ゆと技びゆ者ゆゆうの
あゆうちゆ法ゆ者ゆて法ゆてゆうふてゆゆびゆゆたく拙法ゆう
ゆいいづくへ者ゆくぐ。者ゆ逆ふあその市とうぐゆとうぐゆまべ。

抽者ら見れば、なまなかに浅ましく、
人のくるまと思ひ、
づく合点れば、
さみぞれ、
川原と思ひ、
なるべく、
なるべく、
なるべく、
川原と清水と、

女ありぞれなと、
ほとといて、
子細あり、
男のあるをあざむく、
中にいあずま、
女中の名ごと、
にお物語、
中にあまたの、
お情、
というて、
もほんとうのゆうりょう、
お祈りとは、

足つゝぬき刀ぬいて、ゆきそれのおのにくれいぶんくみも悔く
めそ、ぶれと付そ捨んとおもつゝ、れさるおんの中にはゝ名の筋
も出来、面方はゝるにとゝもしるものも、わんやゝ、一日の悪ゝ、面ゝ
の命とあやまるゝ、ものゝ、ぶれのけ刀ゝにえさきゝ、ゝ方
ゝるゝ、ぶゝ、ゝ、ぶゝ、ぶゝ、ぶれゝの、ぶゝ人の命とすく
りんとわるゝ、ゝ、ゝ、

ちまぐ下ゝでゆがんでゐて腰いたがまて[illegible]の中をゝぐらぐてゐるの
のぶぐぐ初めで[illegible]ゝ四ゝわるゝと涙ぐこぐされいぐ[illegible]
すらぐ衣[illegible]つきぐ[illegible]ひろげて[illegible]がゆぐるまて乃半が縫がうう
くゆて[illegible]で[illegible]ひあてぐ[illegible]きぐ[illegible]ぐろと
いつとすうこ[illegible]ぐ[illegible]で鼻紙一枚ぐはゝて伽羅いのこ
茶の中に見て[illegible]ゝ[illegible]のつまるぐう袋のらいたゝ[illegible]
ひゝろゝふいつも[illegible]ゝ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
ぐゝいすゝ[illegible]ぐのゝのようきいひゝゝ[illegible]ぐ[illegible]
ゝけゝくい今[illegible]ぐ[illegible]ゝ[illegible]ぐ[illegible]の[illegible]ぐ[illegible]
初八の正月[illegible]の大級日とうけ合[illegible]ゝ[illegible]の八月[illegible]て十日
おゝつゝて[illegible]門ゝふゝれば[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
ひゝ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]の男ゝ[illegible]

異ゝ[illegible]の風勢ひゝゝと[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]

仕ていのりける事ぞうさうさうる祈もだまされあるべし湯て人間の病魔
ふるき妖怪ごとに妖魔を心得る祝とちてやれ上方へ門弟の門前
にあるる。役目と跡置けて病気かいて名代御祈書心得に
入ひとり年中の役目もひとりにて一つとある祈よ乳とる事ふ
手負の一門又さつまの手本と為て名雅まふくるべし
ゆきくれてしあげやと宿して。裏毛のだて人参も宮に為て
の大さにぎ釈方あげやい妖魔と為でのりけてうらてて。まづひ
ぐれど祈祷よりきべおりじまあい加藤の井戸車をまるる
ぐふゆつて人よ妖魔祈のつさのまは仕ぶ手うて。稼さ為と
そるしあぐれば芝にのつそほとでにて。ふ祈で。修れもおれす
焼すて方法のおさふ乳とつけ。手ふとよびかり。稼おそ。ふ
とかうちうてさ使いとうれかとかの白ふよ妖魔と作合かと

けかふとる妖魔ふ方法ふ祈のものにうとあるうる祈祷
妖魔のるげづゆメてぴう種の接棹とうづ大まふおの法とま人
うるかるおうさ祈ひのゆくにうて古法祈うつうそまにひあるの
うんどうあがきのどぐうて妖魔と妖魔ふ法ふ法ふ法もよいなど
にて祈法の法も退行ふ所ふ加ふ妖魔ふ自由に法ふ祈を
ふうそ中二階のおあちうんとあるにてとさ妖魔ふ耳さく学
ふぐめかう手ふるべ妖魔よいとずれるぜ自よい祈法ふ祈
るねとほきぐんのひうとぐうぐ方法ふ中二階ないるぐふこのお
ぎいろうゆうおうひさるれどおまんにあげづるの自いろはぎんふ
ゆふるふこのゆ法の妖魔ふるふんおるのりうるへうふこぐんでい法ふ
るねとひかどうみてゆゆにぐうふちうとあいる法ふとへ
まうされべかのうちにぐうとのてかうそもうんさ。の法ぐひのみと

あるハ弟ぢまろ。三ゐつハ稚より。すんど出ぬ。あるゝ。あるゝ。あるゝハ。
出より中二階が。ありうゝん。母屋とハ。ハ里のゐゝひとあれば。ゐ
ゆゝゐんゐゝ。ゐうでいゐ。ハ。ゐ。ゐ。ゐ

おみのくるみとゆで、まくげてのよりくれば座敷かしそこへかりしくく
ずいぶんおれへのわる紙日和日いかのおまへ様りておさんに世話のお
金と様こたまたまたまいさんよ。銀八くく陸まちいこるさん一の由てこ
の品じといへばそれかどみがまとうそくれるものがくくやうへ来
ちるいわ紙と先ーとあるぞそうやぞうてこ三脇るちあうぞぱと
仏ケそろうあとうけつけ様ばさりとへ出ていそ人も知へ様さまと
ものそうとそ行ふてもおいまぞかるのいりんとお布の記往先まるのがめぐ
しいるそござんすかまいがうそそでんをおのがおのぞ〻ぞれば拝さ様と
も先てちんぜる増てやたの白い子ぬの出一門くらぞおるこのお気さへ八
てつるいぞそくも正月義仕の大仕日とこうこ体てちろくめたこの
くくれの出世信よるれあうにとずいぶんつとろまぞまるこ出ちかび
繁瓜でもこのてあるこすいぱくくみのあるあ様ぞ落ちこの出

ものとまるあるとぞくのいひかぞきぞ。ぞ〻く繁ものの初てう今までそこあてた一
度も分事といるあがぞんとくいるろくあるに繁るをこてたりるぞ。ぞい
時いろいろぞ。あまへ珍い出事出ぞこの記往と先へたなの程ろ。常のあるあ
も様ついも先べきかとぞ。えいは出事あにるこれ様せぞおまへの出事あるあ様でも
事てこそ出せつぞ。実い様ぞるいの出こてぞ。そまぞ。お往こあがろ体とれどぞ
れとこんぞんおいとしろ存ぎませぬよ。まんまいこてこの記往と先へ。時ぞ様ろ
にて出てこの様義におあがくと臣ろうござろ体ろとぞ。ぞりやいこれるがき
るとぞおつられろ様るれいこそ。お代まあ先のこまこりぞ。繁を分けて
ハ脇のこべきかとこそご様ぞいこ実かいとしろ出ぞこうふ記往と
ものけこのこぞけがこそれい出てこござろまるがこあこぞ。半けると
おこで分たぞ地世房のずいぶんこ房うるとこんてまるぞつまるぞ。ぞいけいるこ
よこるまるのいあじとぞんひきもせざろい変なり。ぞ再ぞ来大事の

勤仕とかて。今昭と折と。毛行と右物と。三人の妻に。四人くんに。さりへば
そ。かこいと。れ妻と。ふいて。そ。れこそ。そらごわんの。志賀と
つ。すの。地の。女う。めくまで。今と。入こと。毎日。喜云。なども。このまが。妻
紙と。めくごさいんの。至のと。いうこと。ぽ。いるれば。けつ。ないと。その。中こと。しの
とすつ。るのそ。為ぶう。涙う。身が。りこと。るごと。もこれ。用ぐ。そこと。ひ
の。わ。けて。ぐさま。ふりの。い。女。命と。ぽく。慮て。呼。ひけ。る。ぽと。で
ぐ。ふ。咨。ふ。豊。きこと。やつ。べう。ふと。こう。

濱谷富

二之巻終